

三郷市教育委員会の取組

「市内中学校数学科教員合同教科会」

1 目的

市内中学校の学力向上（思考力、表現力を高める）を目指し、近隣校の数学科教員が学び合う場を設定し、指導方法の工夫・改善を図る。

2 構成員・対象者

市内8校の数学科を担当する教員27名（北部4校、南部4校に分ける）
三郷市教育委員会指導主事、三郷市教育指導員（退職校長）

3 開催数

年5回実施（内1回は、夏季休業中に南北合同研修会）

4 内容

学校内では教科担当が少なく研究が深まらないため、近隣校で集まり、①研究授業による授業研究、②調査結果を踏まえた指導方法の工夫・改善等を行う。

5 成果と課題

教科会を重ねるごとに協議が活発になり、意識改革や授業改善が図られている。

今後2月中旬実施の全国学力・学習状況調査過去問題Bを使った事前調査を行い、結果を受けて更なる課題を見出し、その対策・協議を行う。



「授業を基にした数学科訪問」

1 目的

三郷市教育指導員（退職校長）と指導主事が学校を訪問し、教師の指導力の向上を図る。

2 構成員・対象者

市内中学校数学科を担当する全ての教員を対象に、三郷市教育指導員（退職校長）、指導主事が指導を行う。

3 開催数

学校の要請に応じて実施（数学科を担当する全ての教員を対象に複数回訪問も多数あり）

4 内容

授業を参観し、具体的な指導を行う。（学習指導案の提出は求めず、日常の授業を参観する。）

5 成果と課題

学校の要請に応じて指導を行うことで、継続的な指導ができ、個々の教員の自信と意欲が高まるとともに指導力がつき、各学校の学力向上の取組の推進力となっている。

今後、学校からの多くの要請に対応する指導体制を整備するとともに、成果を上げた取組を市内に広めていく。

